特別展

花の宮廷画家 ルドゥーテ

Pierre-Joseph Redouté:
The Official Court Artist of
Botanical Illustrations

会期　　：5.31[土]～7.21[月・祝]
休館日　：月曜日（祝日の7月21日は開館）
開館時間：9時30分～17時00分（入館は16時30分まで）
観覧料　：一般1,000円（900円）、大学生800円（720円）
主催　　：下関市立美術館　読売新聞社　KRY山口放送
特別協力：コノサーズ・コレクション東京
企画協力：青幻舎プロモーション

※（　）内は平日料金。※18歳以下の方、高等学校、中等教育学校、特別支援学校に在学の生徒は、観覧料が免除されます。下関市内に居住する65歳以上の方は半額が免除されます。（いずれも公的証明書の提示が必要です）

展覧会のみどころ

（1）集大成『美花選』の全 144 点、バラ作品 15 点、貴重な肉筆画 3 点など 160 点余りを展示
（2）小・中学生が育てた花で美術館を彩る連携企画を実施
（3）講演会やワークショップを実施

展覧会について

現在のベルギー南東部ワロン地方にて代々画家を家業とする家に生まれたピエール＝ジョゼフ・ルドゥーテ（1759～ 1840）は、ルイ 16 世王妃マリー・アントワネットの博物蒐集室付素描画家として、そしてフランス革命後はナポレオン 1 世皇妃ジョゼフィーヌに仕えた宮廷画家として自然史博物館付植物画家・図画講師を歴任しました。ルドゥーテは植物画家として名高く、その高い技量から「花のラファエロ」「バラのレンブラント」とも称されています。

このたびはルドゥーテの集大成といえる植物図譜『美花選（Choix des plus belles fleurs）』（1827-33 年刊）の全 144 点と、貴重な肉筆画 3 点、そして彼の代表作『バラ図譜（Les Roses）』（1817-24 年刊）より厳選された 15 点の 160 点余りにより、ルドゥーテの美しい植物画の世界へといざないます。

『美花選』より《チューリップ》1827-33 年
コノサーズ・コレクション東京蔵

『バラ図譜』より《ロサ・スルフレア》1817-24 年
コノサーズ・コレクション東京蔵

肉筆画《赤のラナンキュラス、紫と黄色のパンジーの花束》1821年、コノサーズ・コレクション東京蔵

関連催事

①【美術講座】ルドゥーテの生きた時代の美術

日　時：2025年7月12日（土） 午後1時30分～（約1時間）
場　所：下関市立美術館　講堂
講　師：関根佳織（当館学芸員）
定　員：60名（当日受付）※要観覧受付

② ショート・トーク

内　容：展覧会の概要と見どころを約15分で解説します。
日　時：会期中の火曜日
　　各日10時～、11時～、14時～、15時～（約15分間）
会　場：下関市立美術館 講堂
定　員：各回40名（当日受付）※要観覧受付

ショート・トークの様子

連携企画

【第二弾】学校の花で美術館を彩る

日　時： 2025年7月11日（金）～7月21日（月・祝）
場　所： 下関市立美術館　外庭
内　容： 市内の小・中学校で栽培している花を持ち寄り、美術館に展示します。学校での園芸活動の成果発表と芸術鑑賞がつながる体験を通して、児童・生徒だけでなく来館者のみなさまにとって自然と文化への係わりをより深く豊かなものとなる企画を目指しています。

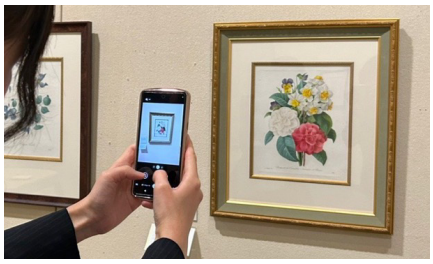
【協力参加校】※順不同　王喜小学校、長府中学校、長成中学校、東部中学校、豊浦小学校、長府小学校、王司小学校、清末小学校、小月小学校、吉田小学校、木屋川中学校

第一弾（5月31日～6月11日）の様子

展示作品すべて撮影OK

特別展「花の宮廷画家ルドゥーテ」では、すべての展示作品を撮影いただけます。SNSへの投稿も可能です。

※作品を撮影する前に、展示室入口前に設置中の撮影ルールをご一読ください。



大人気！ ぬりえコーナー

高島北海が描いた植物画に色を塗れるコーナーを設置しています。美術館で植物画をじっくり鑑賞してから色塗りに挑戦してみてはいかがでしょうか。

下関市立美術館
Shimonoseki City Art Museum
（担当：関根・久光）
〒752-0986 山口県下関市長府黒門東町1-1
TEL. 083-245-4131　FAX. 083-245-6768
E-Mail kibijuts@city.shimonoseki.yamaguchi.jp
HP https://www.city.shimonoseki.lg.jp/site/art

詳細はHPへ！
下関市立美術館